



発行:えりも町郷土資料館ほろいずみ・水産の館 発行日:令和3年4月2日  
〒058-0203 北海道幌泉郡えりも町字新浜207番地  
TEL:01466-2-2410 E-mail:erimomus@cocoa.ocn.ne.jp  
<http://www.town.erimo.lg.jp/horoizumi/>

◆ 岬小、庶野小来館学習 ◆



※えりも岬小学校来館学習

3月3日(水)、えりも岬小学校(3・4年生)7名と、17日(水)には、庶野小学校(3・4年生)9名が、生活社会科学習の一環として、「昔の道具」や「昔の暮らし」を学ぶため、来館しました。



※庶野小学校来館学習

児童らは、職員から「電話の歴史」についての説明や「石油ランプ」の明かりを体験、足踏みミシンを実際に動かしました。その後は、各自で「昔の暮らし」や「道具」について調べ、わからないことは職員に積極的に質問をしていました。

◇ 作品が素敵に仕上がりました ◇

「冬の体験陶芸教室」が、2月19日(金)、26日(金)、3月12日(金)の午前・夜の2部で行われ、8名が参加しました。

初日は、陶芸初挑戦の小学生も参加し、講師や職員から、粘土の練り方やお皿やカップなどの形づくりを教わりながら、楽しく取り組みました。

2日目は、作品を整える削り作業を行いました。



※作品を釉薬に浸けて色付け

最終日は、素焼きした作品に、好きな色の釉薬を選び色付けを行いました。

参加者の作品は、電気窯で本焼きし、素敵な作品ができあがりました。



※素敵に仕上がりました

## 地名の由来 ～ サカキシ(坂岸) ～

松浦日誌は「住古御目見土人此処に上り、日和を立行処此名有と。チャカキシ御目見(おめみえ=新しいものを、初めて人に見せる)の時の船の飾り物也」と記載されています。

そうすると「サカキ・ウシ・イ」(Sakaki-us-i 榊・いつもある・所)の意味となり、船の飾り物がいつもあることで、常に御目見がなければ地名とはなりません。

しかし、御目見がそんなにしばしばあったとは思われない。

バチェラーの『アイヌ・英・和辞典』によると、「Sakange サカンゲ 半バ料理シタル日ニ乾シタル」と記しています。

すなわち、「サカンケ」(Sakanake)とは、アイヌの人々が、生肉(鹿や魚)はすぐ腐敗してしまうことから、肉をサッと茹でて、天日に乾かすという意味です。

したがって、「サカキシ」の原名は「チャカキシ」ではなく、「サカンケウシ」だったと考えられます。

語源は、「サカンケ・ウシ・イ」(Sakanke-us-i 肉を干すのを・いつもしている・所)となって、アイヌの生活様式とも一致します。(えりも町史引用)



写真：道道襟裳公園線、坂岸バス停

## ゴールデンウイークの開館について

ゴールデンウイーク(4月29日(木)～5月6日(木))に伴う、開館及び休館については、下記のとおりとなります。

### ○開館

4月29日(木)、5月1日(土)  
5月2日(日)、5月3日(月)  
5月4日(火)、5月5日(水)

### ○休館

4月30日(金)、5月6日(木)

※施設の開館時間は、9時から17時までとなりますが、入館は、16時30分となっています。

## 「豊似湖に生息するニホンザリガニ」をえりも町文化財に指定しました。

「豊似湖に生息するニホンザリガニ」を道内の湖沼の中でも良好な生息環境が保全されていることから、えりも町文化財(記念物)に指定しました。

4月1日より、豊似湖に生息するニホンザリガニの捕獲には、えりも町文化財保護条例による許可申請と許可が必要になります。



写真：豊似湖のニホンザリガニ

お問合せ：えりも町郷土資料館 (2-2410)

4/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
○	○	○	○	○	休館日	○	○	○	○	○	○	休館日	○	○	○	○

18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	5/1	2	3	4
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
○	○	休館日	○	○	○	○	○	○	休館日	○	○	休館日	○	○	○	○

4月～5月の  
開館カレンダー